

● **経理上手くんα Version 11.101**

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7 搭載機へのインストールは不可となっています。

- ◆ ATLAS シリーズのバージョンアップに伴う対応を行いました。
- ◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“**財務処理 d b (VERSION:11.101) の変更点**”を参照してください。

🚫 **注意**

- 他のICSシステムとマスターのやり取りを行われる場合は、他のICSシステム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

財務処理 d b (VERSION:11.101) の変更点

I. 導入・更新

1) データ抽出

・ATLAS シリーズのバージョンアップに伴う対応を行いました。

II. 登録・入力

1) 仕訳入力

・ATLAS シリーズのバージョンアップに伴う対応を行いました。

III. 通信・移動

1) 会計事務所へマスター&データ送信・移動

2) マスター&データ抽出

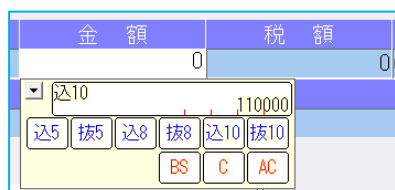
・ATLAS シリーズのバージョンアップに伴う対応を行いました。

その他改良

I. 登録・入力

1) 仕訳入力

①金額欄にて電卓（+キー）を呼び出して、左矢印・右矢印キーで消費税を計算するとき、日付に関わらず 8%で計算されていたのを、最初に矢印キーを押したときは込 10 又は抜 10 を表示して計算するようにしました。



左矢印キー（←）を押すと、込 10> 税> 込 8> 税> 込 10 の順で切り替わります。

右矢印キー（→）を押すと、抜 10> 税> 抜 8> 税> 抜 10 の順で切り替わります。

2) 科目設定・残高登録

①科目設定の出力用特殊名称タブで、決算書名称に「前期繰越損失金」「当期末処理損失金」の名称がデフォルトで表示されるように改良しました。

試算表名称	決算書名称
前期繰越剰余金	
前期繰越 損失	前期繰越損失金
繰越利益剰余金	
当期末処理損失	当期末処理損失金

3) 残高問い合わせ

①試算表・分析表の [F7 合計・明細] 出力詳細タブの「△表示」の設定に従って、出力時に貸倒引当金など金額に△を表示するように改良しました。

※出力時以外は従来通りの表示となっています。

II. 出力 (DX・Pro IIのみ)

1) 試算表・分析表 (DX・Pro IIのみ)

①科目別配賦を行っているマスターで共通部門を出力した際に、金額が 0 円なら“経常利益”は表示されなかったが、金額が 0 円でも表示するように改良しました。

2) 比較・推移表 (DX・Pro II のみ)

①比較損益計算書 (五期) で部門の配賦方法を選択できるように改良しました。 (Pro II のみ)

②2期・3期比較表でも年月表示を行えるように改良しました。

[F6 項目登録] に下記選択を追加しました。

- ・2期比較表を年月表示にする
- ・3期比較表を年月表示にする

※上記追加に伴い、従来、年月表示が可能だった“5期比較表”の選択項目の名称を「5期比較表を年月表示にする」に変更しました。

比較表

2期比較表を年月表示にする

3期比較表を年月表示にする

5期比較表を年月表示にする

「期表示を第〇〇期表示する」にチェックが付いている場合、当オプションを優先して表示します

③2期・3期・5期比較損益計算書で、出力形式を“発生”にした場合、出力月を自・至の期間の横に「〇月分」と表示するように改良しました。

※決修月を指定した場合は、従来通り (期末決算) と表示します。

※試算表、部門別損益計算書・貸借対照表と同様に、設定は設けていません。

また、出力形式が“発生”のみ表示し、累計のときは表示しません。

三期比較損益計算書 (発生)

自 2年 1月 1日 至 2年 4月 30日 4月分

④ [F6 項目登録] の枝番表示タブに枝番名称に記号を表示できる機能を追加しました。

また、枝番名称を“均等割り/左詰め”どちらの表示方法にするかの選択項目を追加しました。

上記追加に伴い、共通タブの「枝番未入力残高を出力する」「枝番出力時に枝番番号を表示しない」を枝番表示タブに移動しました。

※従来の「枝番出力時に枝番番号を表示しない」を「枝番コードを付加する」に名称を変更しました。

様式	属性	科目名称	非表示
貸借対照表	明細	現金	<input type="checkbox"/>
	明細	小口現金	<input type="checkbox"/>
	明細	受取小切手	<input type="checkbox"/>
	明細	当座預金 1	<input type="checkbox"/>
	明細	当座預金 2	<input type="checkbox"/>
	明細	当座預金 3	<input type="checkbox"/>
	明細	当座預金 4	<input type="checkbox"/>
	明細	当座預金 5	<input type="checkbox"/>
	明細	当座預金 6	<input type="checkbox"/>
	明細	当座預金 7	<input type="checkbox"/>
	明細	当座預金 8	<input type="checkbox"/>
	明細	当座預金 9	<input type="checkbox"/>
	明細	当座預金 10	<input type="checkbox"/>
	明細	普通預金 1	<input type="checkbox"/>
	明細	普通預金 2	<input type="checkbox"/>
	明細	普通預金 3	<input type="checkbox"/>
	明細	普通預金 4	<input type="checkbox"/>
	明細	普通預金 5	<input type="checkbox"/>
	明細	普通預金 6	<input type="checkbox"/>
	明細	普通預金 7	<input type="checkbox"/>
	明細	普通預金 8	<input type="checkbox"/>
	明細	普通預金 9	<input type="checkbox"/>
	明細	普通預金 10	<input type="checkbox"/>
	明細	通知預金 1	<input type="checkbox"/>
	明細	通知預金 2	<input type="checkbox"/>
	明細	通知預金 3	<input type="checkbox"/>

初期化(F12)

出力選択

残高未入力残高を出力する

枝番コードを付加する

枝番名称に記号を付加する

記号種別:

枝番名称:

- ⑤『比較貸借推移表、比較損益推移表、比較損益推移表（月平均）』において、「未経過月の予算を累計に集計する」にチェックを付けている場合、「前期同月」の欄も「当期当月」の欄と同様に、決修月まで集計するように改良しました。
- ・上記改良に伴い、チェックを付けている場合、「前期同月」を「前期末」に、「当期当月」を「当期末」に文言を変更しています。
- ※比較貸借推移表は、合計欄設定で「同月累計（前期・当期）」又は「同月累計（前々期・前期）」を選択している場合の対応となっています。

《例：比較損益推移表》

- ・前期に毎月売上を前期に 50000 円ずつ、当期に 60000 円ずつ計上
- ・9 か月目を出力した場合

《対応前》

項目	年月	前期同月までの累計(A)		当期当月までの累計(B)	
		金額	対売上比	金額	対売上比
売上高	1	450000	100.0	690000	100.0
【純売上高】		450000	100.0	690000	100.0

《対応後》

項目	年月	前期末までの累計(A)		当期末までの累計(B)	
		金額	対売上比	金額	対売上比
売上高	1	600000	100.0	690000	100.0
【純売上高】		600000	100.0	690000	100.0

- ⑥試算表と同じように、行間隔を“指定値”で出力できるように改良しました。

詳細項目設定

帳表形式 枝番表示を行う

出力形式 貸借帳表

損益帳表

金額単位 円単位

行間隔

- 1行
- 1.5行
- 指定値(4.2mm)

科目名に科目コード

分類項目に網掛け

- ◆[F6 項目登録]で出力行間の指定を行えます。指定を行える数値は“36～99”（1/10 mm）です。また、初期値は“42”となっています。

共通

破線出力

税処理区分を出力する

期表示を第〇〇期表示する

Excel出力で全科目を出力する(自動のみ)

出力行間 (1/10 mm)

※42 未満に設定できますが、帳票の枠線と文字が少し被ってしまうため、基本的に 42 以上の数値でご使用ください

- ⑦試算表と同じように、[F6 項目登録]の“枝番表示”タブにおいて、枝番登録があり、残高発生のある科目に対して黄色の網掛けを行うように改良しました。

3) 部門別損益計算書・貸借対照表（Pro IIのみ）

- ①部門未登録の場合、配賦方法を「通常配賦」で出力するとエラーメッセージが表示され、業務が終了していたのを、警告メッセージに変更し、処理画面に戻るように変更しました。
- ※また、一度も部門を登録していないマスターの場合は配賦方法の選択が表示されないように変更しました。

Ⅲ. 通信・移動

1) 会計事務所へマスター&データ送信・移動

- ①デスクトップなどに保存できるように、移動方法に「ディスクへ保存」の選択肢を追加しました。初期値の保存先は¥ICSWin¥Work です。参照で保存先を変更できます。

移動方法	ディスクへ保存	
保存先	D:¥ICSWin¥Work	参照

※従来からの「メディアへ転送」も選択できます。(USBメモリ専用)

Ⅳ. 銀行データ取込システム

1) 銀行 CSV 取込

- ①クレジットカード、その他のときに、取込内容画面内の左上の科目入力箇所、諸口・未確定科目を入力できるようにしました。

取込指定	取込内容
楽天カード	
科目: 未確定 科目	

- ②CSV ファイルの摘要名称が 20 文字以上ある場合に、摘要登録を行うと、21 文字目以降が、仕訳転記摘要に入ってしまったのを修正しました。

例) CSV 摘要に“アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノ”と入っている状態で、下記のように摘要登録を行った場合、登録後仕訳転記摘要に 21 文字目以降が付加されていました。

摘要登録	
摘要コード	307
CSV摘要	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト
摘要	あいうえお (最大全角20文字)
カナ	アウエ

仕訳転記摘要
あいうえおナニヌネノ

修正

I. 全般

1) 全般

- ①個人業種の簡易科目体系を使用しているマスターで、科目設定業務の「入力表示科目の設定」でページ科目の追加・変更により“未確定科目”又は“諸口”を追加した場合、科目選択のダイアログで単独の業種を指定すると、追加した科目が正しく表示されていなかったのを、正しく表示されるように修正しました。

※該当業務は下記の業務となっています。

仕訳入力(一括修正)、元帳検索、科目日計(集計)表、科目(摘要)残高一覧表、科目別日別残高表、日計累計残高試算表、定型仕訳登録、総勘定元帳(aは指定元帳)、摘要元帳・損益計算書(DX・Pro IIのみ)、消費税仕訳帳

II. 登録・入力

1) 仕訳入力

- ① [F3 表示設定] で「2行で表示」を選択した状態で、「検索」タブの[F4 一括修正]を選択して、修正開始を行うと、修正仕訳の確認画面で項目名の文字が重なって表示されていたのを修正しました。
- ② [F3 表示設定] の項目のON/OFFによって、入力画面の項目が崩れていたのも修正しました。
- ③ 令和1年9月以前開始、令和1年10月以降終了事業年度のマスターで仕訳検索を行い、検索一覧画面で消費税をクリックして並び替えを行うと、「外税」「非課税」「不課税」にしている仕訳が9月までで一旦ソートされ、10月以降で再ソートして並び替えが行われていたのを修正しました。
※「仕入区分」「業種区分」が入力されている仕訳は、税区分を優先して並び替えを行っています。

番号	日付	伝票	借方	貸方	金額	税額	消費税	変	摘要
8	04.01		仕入高1.非課税	現金	10,000	0	非課		税区分 非課税
6	10.01		仕入高1.非課税	現金	10,000	0	非課		税区分 非課税
1	04.01		仕入高1.課税	現金	20,000	1,481	内8 /課税		課税売上に係る
3	04.01		仕入高1.課税	現金	10,000	740	内8 /課税		課税売上に係る
13	10.01		仕入高1.課税	現金	10,000	740	内8 /課税		課税売上に係る
4	04.01		仕入高1.非売	現金	10,000	740	内8 /非売		非課税売上に係る
2	04.01		仕入高1.共売	現金	10,000	740	内8 /共売		共通に係る
5	04.01		仕入高1.課税	現金	10,000	909	内10 /課税		課税売上に係る
11	10.01		仕入高1.課税	現金	10,000	909	内10 /課税		課税売上に係る
15	10.01		仕入高1.課税	現金	10,000	909	内10 /課税		課税売上に係る
12	10.01		仕入高1.非売	現金	10,000	909	内10 /非売		非課税売上に係る
10	10.01		仕入高1.共売	現金	10,000	909	内10 /共売		共通に係る
14	10.01		仕入高1.共売	現金	10,000	909	内10 /共売		共通に係る
9	04.01		仕入高1.不課税	現金	10,000	0	不課		税区分 不課税
7	10.01		仕入高1.不課税	現金	10,000	0	不課		税区分 不課税

2) 元帳検索

- ① 伝票修正ダイアログの開閉を繰り返すことで、通信リンクエラーが発生していたのを修正しました。

3) 残高問い合わせ

- ① 比較残高・比較貸借・比較損益タブで、前期に金額の発生はあるが、前期・当期どちらも残高が0円となっている場合は、該当科目枝番を表示しないように修正しました。

III. 出力 (DX・Pro IIのみ)

1) 試算表・分析表

- ① 通常配賦を行っているマスターで試算表（損益計算書）を出力した場合、配賦割合を使用していない項目が“配賦額0%”で表示されていたのを修正しました。（Pro IIのみ）

2) 比較・推移表 (DX・Pro IIのみ)

- ① 前期の決算期間が1年未満のマスターで、袋とじ出力にチェックを付けて出力形式を“累計”に設定し、決修月を指定して『比較貸借対照表、比較損益計算書』の出力を行った場合、前期の金額が決修月のみの金額を表示していたので、正しく累計の金額で表示するように修正しました。
- ② 『比較損益推移表、期間損益推移表』で、部門指定を行い、配賦方法を“通常配賦”に設定した状態でレビュー・印刷を行うと、「無効な引数が発生しました。」と表示していたのを修正しました。（Pro IIのみ）
- ③ 『比較損益推移表、部門別比較損益推移表』で、指定月に仕訳の発生はあるが、同月で振替仕訳の入力等によって、残高が0円になる場合に、該当科目が空欄で出力していたので、残高が0円になっている科目は表示をしないように修正しました。

- ④『比較貸借推移表』で、下記条件の場合に出力を行うと、文字が被っていたり、金額が欄外に表示していたのを修正しました。
- (1) 当期の期間が 12 ヶ月未満
 - (2) 出力月を決修月に設定
 - (3) 「決修月を単独表示する」にチェックを付ける

3) 部門別損益計算書・貸借対照表 (Pro II のみ)

- ①棚卸方法の設定が、棚卸科目の拡張科目にも適用されるように修正しました。
《例》棚卸方法を「各月末残」にし、「棚卸残高繰越表示」のチェックを付けている場合等
- ②枝番「0000」に残高がある科目の場合、「枝番表示を行う」にチェックを付けて出力すると、枝番名称だけが表示され、科目名称が表示されていなかったのを修正しました。
- ③部門未登録の場合、配賦方法を「通常配賦」で出力するとエラーメッセージが表示され、業務が終了していたのを、警告メッセージに変更し、処理画面に戻るように変更しました。
※また、一度も部門を登録していないマスターの場合は配賦方法の選択が表示されないように変更しました。
- ④「新規会社登録・修正・削除」で配賦設定を変更した場合、変更前に選択していた配賦方法を読み込んで出力していたのを修正しました。

4) 消費税額試算表・集計表・課税売上割合

- ①簡易課税のマスターで、簿価より対価が小さい資産譲渡の仕訳を入力していた場合、[F6 詳細設定]の「課税取引期間計より消費税額を算出する(総額)」にチェックを付けて兼営事業別取引額を出力すると、資産譲渡の合計金額が正しく集計されていなかったのを修正しました。

IV. 通信・移動

1) マスター&データ抽出

- ①当年が財務、過年度が減価償却のみのマスターに過年度の財務を入れようとする時、“抽出先が減価償却 db 単独マスターの為、入れ替えを行うことができません”というメッセージを表示していなかったのを修正しました。

以上